

## （人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開）

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 L-dopa 製剤の薬物動態に影響する因子の検討

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科医師 向井洋平

【本研究の目的及び意義】

パーキンソン病ならびにパーキンソン症候群の患者様の内服治療においては L-dopa 製剤が中心となります。当院では血液中の dopa 濃度と、患者様の症状の経時的変化で L-dopa 製剤の効果を評価する「L-dopa テスト」を診療の一環として行っています。L-dopa 製剤の吸収は個人差が大きく、また服薬条件によってその効果が変動しますので、一人ひとりにあわせたオーダーメイドの治療を行うために、このような検査をして診療に生かしています。

2004年4月から2026年3月までの期間に当科で行った L-dopa テストの結果および治療結果をまとめて解析する研究「L-dopa 製剤の薬物動態に影響する因子の検討」を行っております。皆様一人ひとりの結果をその方の治療に生かすだけでなく、多数の方の L-dopa テストの結果をまとめて解析することで、すでに検査をされた方にも、またまだ検査をされていない方にも有益な情報を得ることができ、当院のみでなく多くの患者さんの薬物調整に役立たせることができると考えています。この研究では検査の結果にその他の診療情報を加えて解析いたしますが、それらがどなたの情報なのかはわからない形にして解析します。ですから、皆様のプライバシーが侵されるなど、皆様にご迷惑がかかることはございません。なお本研究は厚生労働省の疫学研究に関する倫理指針に従って内容を公開いたします。

当院で入院中に L-dopa テストを受けられた方で、この研究にご自分のデータを使ってほしくないとお考えの方や、ご質問等あります方は下記までご連絡ください。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2004年4月1日より2026年3月31日までの間に、当院脳神経内科で L-dopa テスト

を受けた方。

利用する試料・情報等

情報等：診療録（年齢、性別、体重、診断名、罹病経過、症状、薬剤治療歴、L-dopa テストの検査結果）

研究期間

2021年4月1日より2026年3月31日まで

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 脳神経内科診療部 氏名 向井洋平

電話番号 042-341-2711

e-mail : ymukai@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp